

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	すてっぷ小祿			
○保護者評価実施期間	令和7年 1月 4日		～	令和7年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	0名	(回答者数)	0名
○従業者評価実施期間	令和7年 1月 4日		～	令和7年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数)	5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 3日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	対象児童がいないため回答無し	対象児童がいないため回答無し	対象児童がいないため回答無し
2	対象児童がいないため回答無し	対象児童がいないため回答無し	対象児童がいないため回答無し
3	対象児童がいないため回答無し	対象児童がいないため回答無し	対象児童がいないため回答無し

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・現状、児童発達支援の利用者が0名なので、通っている児がいない事が弱みと思われる。	・以前通っていた児童が進級の為放課後等デイサービスに移行したり、保護者の転勤などでサービス利用者が0名になりそのままの状況が続いている。	・相談員さんに新規利用児の受け入れについて説明し、見学、体験の数を増やす事。また、SNSやHPでの発信も強化し周知や認知に繋げていく必要があると思われる。
2	・曜日によっては定員数に達しており受け入れが難しい状況がある事。	・多機能型事業所で放課後等デイサービスのご利用者の方々と合わせて10名という状況がある事。	・放課後等デイサービスの利用者で休みがちな児に対し改めて利用曜日の確認を行い、現状の空き状況や利用の方法について調整し、可能な枠を広げ強化していく。
3	・イベントや保護者会、保育園やこども園、他事業所との交流が少なく、職員や児童の刺激や社会性の成長の部分が弱い。	・事業所の存在についての周知や認知が弱い。また、日々の業務の見直しが出来ておらず、時間を上手く使えていない。	・年間スケジュールを見直し、保護者への定期的な連絡やイベント参加の有無、会議やモニタリング参加の際に合同での活動や交流の話を提案し、実行に繋げていく。